（様式第９）

滋医大Ｄ－１－1－１４号
平成 ２０年１０月 １日

厚生労働大臣　　殿

[redacted]

滋賀医科大学医学部附属病院
病院長　　柏 木 厚

滋賀医科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第１２条の３の規定に基づき、平成１９年度の業務に関して報告します。

記

1　高度の医療の提供の実績　→　別紙参照（様式第１０）
2　高度の医療技術の開発及び評価の実績　→　別紙参照（様式第１１）
3　高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	医科　６９人　歯科　５．５人

（注）前年度の研修医の実数を記入すること。

4　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法　→　別紙参照（様式第１２）
5　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
6　他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績　→　別紙参照（様式第１３）
7　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種		員数
医師	185人	117.1人	302.1人	看護業務補助	5人	診療エックス線技師		0人
歯科医師	4人	7人	11人	理学療法士	10人	臨床検査	臨床検査技師	32人
薬剤師	22人	6.2人	28.2人	作業療法士	4人		衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人		その他	0人
助産師	11人	2.7人	13.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師		0人
看護師	447人	35人	482人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者		2人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	1人	その他の技術員		2人
歯科衛生士	1人	1人	2人	歯科技工士	1人	事務職員		66人
管理栄養士	5人	3人	8人	診療放射線技師	24人	その他の職員		23人

（注）　1　報告を行う当該年度の１０月１日現在の員数を記入すること。
　　2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
　　3　「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下２位を切り捨て、小数点以下１位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること

8　入院患者、外来患者及び調剤の数
　歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
１日当たり平均入院患者数	457.2 人	4.1 人	461.4 人
１日当たり平均外来患者数	1,198.4 人	48.2 人	1,246.6 人
１日当たり平均調剤数	923.7 剤		

（注）　1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
　　2　入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の２４時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。
　　3　外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
　　4　調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

（様式第10）

高度の医療の提供の実績

1　先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・(無)	人
・膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・(無)	人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・(無)	人
・胎児心超音波検査	有・(無)	人
・インプラント義歯	(有)・無	０人
・顎顔面補綴	有・(無)	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・(無)	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・(無)	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・(無)	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・(無)	人
・経皮的レーザー椎間板切除術	有・(無)	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物Ｐ糖蛋白質の測定	有・(無)	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・(無)	人
・ＣＴガイド下気管支鏡検査	有・(無)	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・(無)	人
・筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのＤＮＡ診断	有・(無)	人
・ＳＤＩ法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・(無)	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・(無)	人
・ＨＤＲＡ法又はＣＤ－ＤＳＴ法による抗悪性腫瘍感受性試験	(有)・無	１８１人
・子宮頸部前がん病変のＨＰＶ－ＤＮＡ診断	有・(無)	人
・腹腔鏡下肝部分切除術	有・(無)	人
・悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・(無)	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・(無)	人
・成長障害のＤＮＡ診断	有・(無)	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・(無)	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・(無)	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・(無)	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・(無)	人
・ミトコンドリア病のＤＮＡ診断	有・(無)	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・(無)	人
・神経変性疾患のＤＮＡ診断	有・(無)	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・(無)	人
・重粒子線治療	有・(無)	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・(無)	人
・31燐一磁気共鳴ｽﾍﾟｸﾄﾛｽｺﾋﾟｰとｹﾐｶﾙｼﾌﾄ画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	(有)・無	１人
・神経芽腫のＲＮＡ診断	有・(無)	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・(無)	人
・重症ＢＣＧ副反応症例における遺伝子診断	有・(無)	人
・骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・(無)	人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・(無)	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・(無)	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・(無)	人
・Ｑ熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・(無)	人
・エキシマレーザ冠動脈形成術	有・(無)	人
・活性化Ｔリンパ球移入療法	有・(無)	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・(無)	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・(無)	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・(無)	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・(無)	人
・ＨＬＡ抗原不一致血縁ドナーからのＣＤ３４陽性造血幹細胞移植	有・(無)	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるＣＴ透視下の経皮的椎間板減圧術	有・(無)	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・(無)	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・(無)	人
・末梢血幹細胞による血管再生治療	有・(無)	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・(無)	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・(無)	人
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・(無)	人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・(無)	人
・超音波骨折治療法	(有)・無	１人
・ＣＹＰ２Ｃ１９遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・(無)	人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・(無)	人
・Ｘ線ＣＴ画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・(無)	人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・(無)	人
・膀胱水圧拡張術	有・(無)	人
・色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・(無)	人
・先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・(無)	人
・歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・(無)	人
・セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・(無)	人
・腹腔鏡下直腸固定術	有・(無)	人
・骨移動術による関節温存型再建	有・(無)	人
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・(無)	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	(有)・無	９人
・自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・(無)	人
・自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・(無)	人
・リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・(無)	人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・(無)	人
・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・(無)	人
・先天性難聴の遺伝子診断	有・(無)	人
・フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・(無)	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・(無)	人
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・(無)	人
・培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・(無)	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
・内視鏡下頚部良性腫瘍摘出術	(有)・無	0 人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・(無)	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	(有)・無	3 人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・(無)	人
・カフェイン併用化学療法	有・(無)	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・(無)	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block（ＭＡＢ）治療	有・(無)	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・(無)	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・(無)	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・(無)	人
・骨腫瘍のＣＴ透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・(無)	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・(無)	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・(無)	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・(無)	人
・副甲状腺内活性型ビタミンＤ（アナログ）直接注入療法	有・(無)	人

（注）１　「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

２　先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾　患　名	取扱い患者数	疾　患　名	取扱い患者数
・ベーチエット病	２３人	・モヤモヤ病（ウイリス動脈輪閉塞症）	１０人
・多発性硬化症	１６人	・ウェゲナー肉芽腫症	５人
・重症筋無力症	２２人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	８０人
・全身性エリテマトーデス	９４人	・多系統萎縮症	１５人
・スモン	２人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	１人
・再生不良性貧血	２２人	・膿疱性乾癬	９人
・サルコイドーシス	３４人	・広範脊柱管狭窄症	９人
・筋萎縮性側索硬化症	１８人	・原発性胆汁性肝硬変	２６人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	４３人	・重症急性膵炎	８人
・特発性血小板減少性紫斑病	４２人	・特発性大腿骨頭壊死症	４５人
・結節性動脈周囲炎	１４人	・混合性結合組織病	１４人
・潰瘍性大腸炎	２９９人	・原発性免疫不全症候群	０人
・大動脈炎症候群	８人	・特発性間質性肺炎	２人
・ビュルガー病	４人	・網膜色素変性症	１７人
・天疱瘡	１２人	・プリオン病	０人
・脊髄小脳変性症	２３人	・原発性肺高血圧症	１人
・クローン病	１１０人	・神経線維腫症	１０人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	５人	・亜急性硬化性全脳炎	０人
・悪性関節リウマチ	６人	・バッド・キアリ（Budd-Chiari)症候群	１人
・パーキンソン病関連疾患	５５人	・特発性慢性肺血栓塞栓症（肺高血圧型）	１人
・アミロイドーシス	４人	・ライソゾーム病（ファブリー［Fabry］病）含む	２人
・後縦靱帯骨化症	５４人	・副腎白質ジストロフィー	１人
・ハンチントン病	２人		

（注）「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①．臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ２．臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週一回を原則としている。	
剖　検　の　状　況	剖検症例数　３３　例	剖検率　２１　％

（様式第１１）　　高度の医療技術の開発及び評価の実績

１．研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（千円）	補助元又は委託元	
イオンチャネル病としての遺伝性不整脈の遺伝型・表現型関連の研究	堀江　稔	循環器内科	5,300	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
循環器疾患におけるイオンチャネル病に関する研究	堀江　稔 Zankov D	循環器内科	1,100	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
致死性遺伝性不整脈疾患の遺伝子診断と臨床応用	堀江　稔 （分担）	循環器内科	4,500	㊞ 委	厚生労働科学研究費補助金
催不整脈宇室心筋症(ARVC)の病態と治療に関する研究	堀江　稔 （分担）	循環器内科	5,000	補 ㊟	国立循環器病センター
虚血性心疾患でのLp-PLA2濃度・活性・遺伝子多型と冠動脈プラーク組成の検討	山本　孝	循環器内科	1,600	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
細胞・生体シミュレーションプロジェクト.全心臓電気現象の包括的シミュレーション技術の開発による個別患者における不整脈発生危険予測システムの開発	芦原　貴司 （分担）	循環器内科	7,350	㊞ 委	文部科学省リーディングプロジェクト
スパイラル・リエントリーの抜錨による致死性不整脈防止技術の開発	芦原　貴司	循環器内科	1,000	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
統合的人体シミュレーションを目指したバーチャル心臓の機能モジュール化の研究	芦原　貴司	循環器内科	500	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
SCN5A遺伝子異常陰性のブルガダ症候群における遺伝子異常の同定と機能解析	伊藤　英樹	循環器内科	1,100	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
外国人研究者招へい助成金	中野　恭幸	呼吸器内科	300	㊞ 委	財団法人滋賀医学国際協力会
慢性閉塞性肺疾患の発症機序と体格に関する研究一画像解析と遺伝子多型解析の融合一	中野　恭幸	呼吸器内科	700	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
COPDのphenotypingに関する包括的研究	中野　恭幸	呼吸器内科		㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
インターロイキン22を標的とした炎症性腸疾患に対する分子標的療法確立の基礎検討	安藤　朗	消化器内科	1,300	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
遺伝子導入骨髄幹細胞移植を用いた新たな炎症性腸疾患治療法開発の基礎検討	藤山　佳秀	消化器内科	500	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
長寿科学総合研究事業：高齢者糖尿病に対する総合診療体制確立のための総合的研究一無作為比較研究(J-EDIT)を中心に	柏木　厚典	内分泌代謝内科	1,500	㊞ 委	厚生労働科学研究費補助金
循環器疾患等総合研究事業：「2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び長期予後改善のための前向き研究(JDC Study)」	柏木　厚典	内分泌代謝内科	300	㊞ 委	厚生労働科学研究費補助金
メタボリックシンドローム発症遺伝子：新しい食事誘導性蛋白の同定とその機能解析	柏木　厚典	内分泌代謝内科	3,900	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
メタボリックシンドロームにおけるアディポサイトカイン発現調節機構の解明	前川　聡	内分泌代謝内科	2,100	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
食後血管組織で活性化される炎症関連転写因子の活性化と遺伝子応答を明かにする	西尾　善彦	内分泌代謝内科	1,400	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
新たな糖尿病性腎症治療標的分子としてのHSP遺伝子群の基礎的・臨床的意義の解明	荒木　信一	腎臓内科	700	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
メタボリックシンドロームにおける脂肪細胞肥大化分子AP2βの役割	仰木　智	内分泌代謝内科	1,800	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
有痛性糖尿病性神経障害発症におけるテトロドトキシン抵抗性Na+チャネルの関与	真田　充	神経内科	1,300	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金
血糖コントロールの是正および糖尿病性血管合併症と血小板機能との関連を解明する	貴志　明生	内分泌代謝内科	1,700	㊞ 委	文部科学省科学研究費補助金

小計23

（様式第１１）　　高度の医療技術の開発及び評価の実績

１．研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（千円）	補助元又は委託元	
脂肪合成遺伝子発現調節における新たに発見した遺伝子の機能解析	関根　理	内分泌代謝内科	1,700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ミトコンドリアバイオジェネシスを介した新規糖尿病治療法の探索	森野　勝太郎	内分泌代謝内科	2,200	補 委	文部科学省科学研究費補助金
抗老化分子SIRT1を標的とした加齢腎に対する新たな治療展開に関する研究	久米　真司	腎臓内科	1,330	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Mitochondria biogenesisによるインスリン抵抗性治療の試み	森野　勝太郎	内分泌代謝内科	1,000	補 委	ノボ・ノルディスクファーマ研究助成金
ミトコンドリアバイオジェネシスを介したインスリン抵抗性治療の試み	森野　勝太郎	内分泌代謝内科	2,000	補 委	武田科学振興財団研究助成金
新たに肝にて同定された果糖誘導性転写調節因子RBMXのSREBP-1c転写調節機構の解析	西尾　善彦	内分泌代謝内科	2,000	補 委	第４回メタボリックシンドローム研究会助成金
メタボリックシンドローム候補遺伝子；転写因子Activating enhancer binding protein-2β(AP-2β)によるアディポサイトカイン発現制御機構の解明。（とくにmonocyte chemoattractant protein-1(MCP-1)分泌促進機構の解明	近藤　基之	内分泌代謝内科	200	補 委	財団法人滋賀医学国際協力会研究会助成金
腹膜線維症モデル実験動物における腹膜繊維化に対するAc-SDKPの効果	一色　啓二	腎臓内科	300	補 委	財団法人滋賀医学国際協力会研究会助成金
果糖反応性転写調節蛋白(RBMX)の肝臓におけるSREBP-1c活性調節機構の解明～RBMXに結合する新規転写調節因子の同定とその機能解析～	大村　寧	内分泌代謝内科	500	補 委	第２４回滋賀医大シンポジウム　若鮎賞
糖尿病の新規血清マーカーの発見と臨床応用の確立	小畑　利之	内分泌代謝内科	3,000	補 委	とくしま産業振興機構
生体における分子イメージング法を用いた膵β細胞定量化とその臨床応用	小畑　利之	内分泌代謝内科	2,000	補 委	学長裁量経費
メタボリック症候群の腎障害に対する食塩負荷の影響とGCP受容体アゴニスト効果	宇津　貴	腎臓内科	500	補 委	ソルトサイエンス研究財団
肥満メタボリック症候群に伴う腎障害の発症・進展における腎内脂質代謝異常の実与	久米　真司	腎臓内科	500	補 委	CKD AWARD ベーリンガー及びアステラス
再発小児固型腫瘍に対する塩酸ノギテカンとイホスファミド併用療法の第I/II相臨床試験	多賀　崇	小児科	500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
ケラチン点突然変異をモデルとした優性抑制解除法の開発	田中　俊宏	皮膚科	600	補 委	文部科学省科学研究費補助金
乾癬におけるNotchシグナルに関する研究	中西　元	皮膚科	900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
マイクロ波応用手術支援機器と手術システムの臨床応用	谷　徹	消化器外科 乳腺・一般外科	57,200	補 委	科学技術振興機構
体腔内ロボットの開発	谷　徹	消化器外科 乳腺・一般外科	28,098	補 委	文部科学省科学研究費補助金
心筋内レーザー血管新生術(TMLR)に関する研究	浅井　徹	心臓血管外科	2,000	補 委	学長裁量経費
Hypoxia-inducible factor-1α(HIF-1α)を標的とした癌分子標的治療法の開発に関する基礎研究	寺本　晃治	呼吸器外科	1,998	補 委	学長裁量経費
腫瘍関連抗原90Kを標的とした癌免疫療法の開発と臨床応用	尾崎　良智	呼吸器外科	1,400	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計44

（様式第１１）　　高度の医療技術の開発及び評価の実績

１．研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（千円）	補助元又は委託元	
濃度勾配コラーゲンによる関節軟骨欠損修復に関する研究	松末　吉隆	整形外科	1,100	補 委	文部科学省科学研究費補助金
難治性疾患克服研究事業脊椎靱帯骨化症に関する調査研究	松末　吉隆	整形外科	1,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
化学・放射線療法が必要な若年女性患者の卵巣機能温存のための卵巣凍結保存技術の確立	清水　良彦	女性診療科	1,600	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト腎細胞癌でマイクロRNAに制御される標的遺伝子と遺伝子ネットワークの検討	岡田　裕作	泌尿器科	1,800	補 委	文部科学省科学研究費補助金
散在性反復配列（利的遺伝子）の脱メチル化による新たなヒト精巣腫瘍発癌モデルの構築	岡本　圭生	泌尿器科	4,700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
間質性膀胱炎に関する自己抗体の研究	成田　充弘	泌尿器科	2,200	補 委	文部科学省科学研究費補助金
尿路上皮癌診断マーカー尿中カルレティキュリンテストの開発	影山　進	泌尿器科	2,200	補 委	文部科学省科学研究費補助金
尿路上皮癌におけるperiostinによる浸潤・転移抑制の分子機構の解明	金　哲将	泌尿器科	2,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脈絡膜上経網膜電気刺激(STS)法による人工視覚システムの臨床応用	大路　正人	眼科	2,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金
インドシアニングリーンとフェムト秒レーザーによる光線力学療法の開発	大路　正人	眼科	1,100	補 委	文部科学省科学研究費補助金
杆体一色型色覚における遺伝子変異の機能的解析	村木　早苗	眼科	700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
核磁気共鳴スペクトロスコピーを用いた神経因性疼痛の中枢性機序の解明と治療法の確立	岩下　成人	ペインクリニック科	1,000	補 委	日本損害保険協会 交通事故医療に関する一般研究助成
難治性癌性疼痛に対するくも膜下ベタメサゾン注入の有効性の検討	塚原悦子	ペインクリニック科	300	補 委	（財）笹川医学医療研究財団　平成19年度ホスピスケアに関する研究助成
じん肺健康診断におけるエックス線デジタル撮影画像の活用に関する研究	村田　喜代史	放射線科	9,500	補 委	厚生労働科学研究費補助金
フラットパネルデテクタを用いた胸部座位型超低線量CTの研究	高橋　雅士	放射線科	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌患者に対するデンタルインプラント治療の研究	西川　正典	歯科口腔外科	渡航費、滞在費（1840 euro/月），国内旅費	補 委	日本学術振興会　特定国派遣研究者（ドイツ・短期）
カニクイザルの下顎骨に埋入した歯科インプラントと周囲歯肉軟組織との結合(Soft tissue integration)と影響因子に関する研究	坂本　耕造	歯科口腔外科	3,000	補 委	滋賀医科大学　教育改善推進費（学長裁量経費）
周術期における血栓形成機構解明に関する研究	平方　秀男	手術部	1,800	補 委	文部科学省科学研究費補助金
各種疾患病態における新規遺伝子RB1CC1の関わりと臨床医学応用への試み	岡部　英俊	検査部	2,800	補 委	文部科学省科学研究費補助金
癌抑制遺伝子RB1CC1のシステム破綻による発がん機構とその抑制	茶野　徳宏	検査部	5,500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
第１４番染色体長腕上のヒト腎細胞癌特異的刷り込み型癌抑制遺伝子の同定	川上　享弘	検査部	4,500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
核移行シグナルにつけたAkt遺伝子導入による心肥大抑制作	辻田　靖之	救急・集中治療部	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金

小計66

（様式第１１）　　高度の医療技術の開発及び評価の実績

１．研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（千円）	補助元又は委託元	
重症患者における多臓器不全発症のメカニズムの解明	藤野　和典	救急・集中治療部	1,700	㊞補 委	文部科学省科学研究費補助金
力学的刺激による関節軟骨再生の試み	今井　晋二	リハビリテーション科	1,400	㊞補 委	文部科学省科学研究費補助金
小児の臨床研究推進に必要な人材育成と環境整備のための教育プログラム作成	中川　雅生	治験管理センター	16,501	㊞補 委	厚生労働科学研究費補助金
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究	中川　雅生	治験管理センター	2,500	㊞補 委	厚生労働科学研究費補助金
冠動脈開口部の発生機序および心臓外に由来する細胞の役割解明	中川　雅生	治験管理センター	1,900	㊞補 委	文部科学省科学研究費補助金
DNA・血液サンプルおよび臨床情報の収集	中川　雅生	治験管理センター	21,000	補 ㊞委	文部科学省

計 72

（注）　１　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

２　「研究者氏名」欄は、１つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

３　「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
JMCC 42(3) 662-669 2007	Mechanistic basis for the pathogenesis of long QT syndrome caused by a splicing mutation in KCNQ1 gene.	Tsuji K	循環器内科
J Physiol Sci 57 S227 2007	Angiotensin II type 1(AT)receptor and swelling-activated increase of the slow component of the delayed rectifier K+ current (Iks)in guinea pig atrial cells.	Zankov D	循環器内科
J Mol Cell Cardiol 42(3) 662-669 2007	Mechanistic basis for the pathogenesis of long QT syndrome associated with a common splicing mutation in KCNQ1 gene.	Tsuji K	循環器内科
J Nucl Cardiol 14(2) 215-220 2007	A novel clinical indicator using Tc-99m sestamibi for evaluating cardiac mitochondrial function in patiens with cardiomyopathies.	Matsuo S	循環器内科
Int J Cardiol 121(3) 249-252 2007	A paradoxical effect of lidocaine for the N406S mutation of SCN5A associated with Brugada syndrome.	Itoh H	循環器内科
Thrombo Res 120 791-796 2007	Cigarette smoking impairs bradykinin-stimulated tissue plasminogen activator release in human coronary circulation.	Takashima H	循環器内科
Eur Heart J 28 1723-1730 2007	Total and high molecular weight adiponectin, haemodynamics, and mortality in patients with chronic heart failure.	Tsutamoto T	循環器内科
Acta Radiol 48(4) 436-443 2007	Creatine Depletion and Altered Fatty Acid Metabolism in Diseased Human Hearts:Clinical Investigation Using (1)H Magnetic Resonance Spectroscopy and (123)I BMIPP Myocardial Scintigraphy.	Nakae I	循環器内科
Heart Vessels 22(2) 128-130 2007	Churg-Strauss syndrome presenting with massive pericardial effusion.	Matsuo S	循環器内科
Eur J Heart Fail 9(6-7) 667-673 2007	Direct comparison of transcardiac difference between brain natriuretic peptide (BNP) and N-terminal pro-BNP in patients with chronic heart failure.	Tsutamoto T	循環器内科
Circ J 71 915-921 2007	Comparison of Active Renin Concentration and Plasma Renin Activitiy as a Prognositc Predictor in Patients With Heart Failure.	Tsutamoto T	循環器内科
Circ J 71 A50-A53 2007	Disorders of Cardiac Repolarization-Long QT and Short QT Syndromes-.	Horie M	循環器内科
Hypertens Res 30(8), 691-697 2007	Comparison of the Effects of Efonidipine and Amlodipine on Aldosterone in Patients with Hypertension.	Tanaka T	循環器内科
Eur J Heart Fail 9(10) 1032-1037 2007	Plasma Level of Cardiotrophin-1 as a Prognostic Predicotr in Patients with Chronic Heart Failure.	Tsutamoto T	循環器内科
Circ J 72(1) 139-143 2007	Whole-body Periodic Acceleration Enhances Brachial Endothelial Function.	Matsumoto T	循環器内科

小計15

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Circ J 71(12) 1873-1878 2007	Direct Comparison of Transcardiac Increase in Brain Natriuretic Peptide(BNP) and N-terminal proBNP and Prognosis in Patients with Chronic Heart Failure.	Tsutamoto T	循環器内科
Biophysical Journal 92 448-460 2007	Dynamic origin of spatially discordant alternans in cardiac tissue.	Hayashi H	循環器内科
Ann Nucl Med 21 315-323 2007	Assessment of cardiac function in patients with heart disease by quantitative gated myocardial perfusion SPECT.	Nakae I	循環器内科
Int J Cardiol 115(3) 129-131 2007	Left ventricular involvement in arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy demonstrated by multidetector-row computed tomography.	Matsuo S	循環器内科
Inflamm.Bowel Dis 13(8) 955-962 2007	Terminal restriction fragment length polymorphism analysis of the diversity of fecal microbiota in patients with ulcerative colitis.	Andoh A et al.	消化器内科
Endoscopy 40(1) 11-15 2008	Novel single-ballon enteroscopy for diagnosis and treatment of the small inestine: preliminary experiences.	Tsujikawa T	消化器内科
Intern Med 2007	T2*-weighted MR images of a patient with familial cerebral cavernous malformation.	Maeda K et al.	神経内科
Arteriosclerosis, thrombosis, and vascular biology 2007	Relation of Framingham Score, Lipoprotein Subfractions and Obesity with Coronary Calcium Score in Middle-aged Japanese and White American Men.	Ueshima H et al.	内分泌代謝内科
Eur J Inern Med 2007	Pseudohyperkalemia in a patient with rapidly progressive glomerulonephritis.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 神経内科 内分泌代謝内科
Nephrol Dial Transplant. 2007	Minimal-change nephropathy and chronic hepatitis C infection: coincidental or arrociated ?	Aoyama M et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
APLAR Journal of Rheumatology 2007	Necrotizing fasciitis resulting from Escherichia coil in a patient with chronic rehumatoid arthtitis.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
APLAR Journal of Rheumatology 2008	Successful treatment of methicillin-resistant Staphylococcus aureus-related septic arthritis with long-term oral minocycline.	Sugimoto T Kashiwagi A	腎臓内科 内分泌代謝内科
Rheumatol Int 2007	An unusual case of Wegener's granulomatosis developing with glomerulonephritis as an initial manifestation.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Intern Med 2007	Spontaneous hemorrhage from renal angomyolipoma presenting with fever of unknown origin.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科

小計29

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Clin Rheumatol 2007	The occurrence of systemic lupus erythrmatosus in an asymptomatic carrier of human T-cell lymphotropic virus type I.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Rheumatol Int 2007	Usefulness of magnetic resonance imaging in eosinophilic asciitis.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Lupus 2007	Emergence of panniculitis and haemophagocytic syndrome in a patient with chronic systemic lupus erythematosus.	Deji N et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Diabetes Care 2007	Reduction of Microalbuminuria in Patients With Type 2 Diabetes.	The Shiga Microalbuminuira Reduction Trial (SMART)	腎臓内科 内分泌代謝内科
Intern Med 2007	Membranous nephropathy associated with the relatively selective cyclooxygenase-2 inhibitor, etodolac, in a patient with early rheumatoid arthritis.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Intern Med 2007	Emerging minimal-change nephrotic syndrome in a patient with chronic mesangial proliferative lupus nephritis.	Deji N et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Intern Med 2007	Internal capsule infarction showing leg monoparesis.	Maeda K et al.	神経内科
Neurosci Lett 2007	Inhibitory action of protein kinase Cbeta inhibitor on tetrodotoxin-resistant Na^+ current in small dorsal root ganglion neurons in diabetic rats.	Hayase F et al.	神経内科 内分泌代謝内科
Nephrol Dial Transplant. 2007	Haemolytic uraemic syndrome complicated with norovirus-associated gastroenteritis.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 神経内科 内分泌代謝内科
Eur J Intern Med 2007	Massive pericardial effusion secondary to Hashimoto's disease.	Omura Y et al.	内分泌代謝内科 腎臓内科
Intern Med 2007	Constipation and segmental abdominal paresis followed by herpes zoster.	Maeda K et al.	神経内科
Diabetes Res Clin Pract 2007	Rationale and usefulness of newly devised abbreviated diagnostic criteria and staging for diabetic polyneuropathy.	Yasuda H et al.	神経内科 内分泌代謝内科
Eur J Intern Med 2007	A case of scabies masquerading as drug eruption.	Sugimoto T Kashiwagi A	腎臓内科 内分泌代謝内科

小計42

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Rheumatol Int 2007	Cytomegalovirus reactivation exacerbated thromboytopenia and haemolysis in a patient with systemic lupus erythematosus.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Endocr J 2007	Short-term low-dosage pioglitazone treatment improves vascular dysfunction in patients with type 2 diabetes.	Maegawa H et al.	内分泌代謝内科
J Am Soc Nephrol 2007	Role of altered renal lipid metabolism in the development of renal injury induced by a high-fat diet.	Kume S et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Biochem Biophys Res Commun 2007	Membrane localization of protein-tyrosine phosphatase 1B is essential for its activation of sterol regulatory element-binding protein-1gene expression.	Shi K et al.	内分泌代謝内科
J Clin Biochem Nutr 2007	Serum concentrations of trace elements in patients with Crohn's disease receiving Enteral Nutrition.	Johtatsu T et al.	内分泌代謝内科
QJ Med 2007	No elevation of blood urea level in a dehydrated patient with central diabetes insipidus.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Ann Nucl Med 2008	Surveilance study for creating the national clinical database relating to ECG-gated myocardial perfusion SPECT of asymptomatic ischemic heart disease in patients with type-2 diabetes mellitus: J-ACCESS 2 study design.	Kusuoka H et al.	内分泌代謝内科
Nephrology(Carlton) 2007	Acute nephritic syndrome and polymyalgia rheumatica: coincidental or associated?	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Nephrology(Carlton) 2008	Is scleroderma renal crisis with anti-centromere antibody-positive limited cutaneous systemic sclerosis overlooked in patients with hypertension and/or renal dysfunction?	Sugimoto T et al.	腎臓内科 神経内科 内分泌代謝内科
Nephrology(Carlton) 2008	Is tubulointerstitial nephritis and uveitis syndrome associated with IgG4-related systemic disease?	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Clin Rheumatol 2008	Emerging lupus-like manifestations in acute parvovirus B19 infection.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Lupus 2007	Thrombotic microangiopathy in an adult patient with clinically amyopathic dermatomyositis complicated with interstitial lung disease.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Lupus 2007	Intractable hiccup associated with aseptic meningitis in a patient with systemic lupus erythematosus.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 神経内科 内分泌代謝内科

小計55

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
QJM 2008	Hyponatraemia due to renal proximal tubule dysfunction in a patient with adult-onset Still's disease.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
QJM 2008	Oliguric acute renal failure following oral valacyclovir therapy.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
J Hum Genet 2008	Association of TCF7L2 polymorphisms with susceptibility to type 2 diabetes in 4,087 Japanese subjects.	Miyake K et al.	内分泌代謝内科
J Am Soc Nephrol 2008	Asialoerythropoietin prevents contrast-induced nephropathy.	Yokomaku Y et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Metabolism 2008	Intima-media thickness of the carotid artery and the distribution of lipoprotein subclasses in men aged 40 to 49 years between whites in the United States and the Japanese in Japan for the ERA JUMP study.	Sekikawa A et al.	内分泌代謝内科
Diabetes Res Clin Pract 2008	Renal segmental hypoplasia, Ask-Upmark kidney, in a patient with microalbuminuric hypertensive type 2 diabetes mellitus.	Fuke T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Diabetes 2007	Associaton of CDKAL1, IGF2BP2, CDKN2A/B, HHEX, SLC30A8, and KCNJ11 with susceptibility to type 2 diabetes in a Japanese population.	Omori S et al.	内分泌代謝内科 腎臓内科
Am J Epidemiol 2007	Coronary artery calcification in Japanese men in Japan and Hawaii.	Abbott RD et al.	内分泌代謝内科
Diabetes Care 2007	Relationship between metabolic risk factor clustering and cardiovascular mortality stratified by high blood glucose and obesity: NIPPON DATA90, 1990-2000	Kadota A et al.	内分泌代謝内科
Diabetes 2007	Reduction in microalbuminuria as an integrated indicator for renal and cardiovascular risk reduction in patients with type 2 diabetes.	Araki S et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Am J Epidemiol 2007	Less subclinical atherosclerosis in Japanese men in Japan than in White men in the United States in the post-World War II birth cohort.	Sekikawa A et al.	内分泌代謝内科
Rheumatol Int 2007	Henoch-Schonlein purpura in a patient with human immunodeficiency virus infection.	Sugimoto T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科
Diabetes Res Clin Pract 2008	Impaired peripheral circulation in lower-leg arteries caused by higher arterial stiffness and greater vascular resistance associates with nephropathy in type 2 diabetic patients with normal ankle-brachial indices.	Yoshimura T et al.	腎臓内科 内分泌代謝内科

小計68

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Current Signal Transduction Therapy 2008	Regulation of the P13K-Akt Network: Cyrrent Status and a promise for the Treatment of Human Diseases.	Noguchi M et al.	内分泌代謝内科
Clin Neurol Neurosurg 2007	Hereditary motor and sensory neuropathy (proximal dominant form, HMSN-P) among Brazilians of Japanese ancestry.	Maeda K et al.	神経内科
Diabetes 2007	n-3 Fatty acids preserve insuin sensitivity in vivo in a peroxisome proliferator-activated receptor-alpha-dependent manner.	Neschen S et al.	内分泌代謝内科
J Biol Chem 2007	Suppression of diacylglycerol acyltransferase-2(DGAT2),but not DGAT1, with antisense oligonucleotides reverses diet-induced hepatic steatosis and insulin resistance.	Choi CS et al.	内分泌代謝内科
Am J Physiol Endocrinol Metab 2007	Increased hypothalamic-pituitary-adrenal axis activity and hepatic insulin resistance in low-birth-weight rats.	Buhl Es et al.	内分泌代謝内科
Cell Metab 2007	Aging-associated reductions in AMP-activated protein kinase activity and mitochondrial biogenesis.	Reznick RM et al.	内分泌代謝内科
Diabetes 2008	Fish oil preserves insulin sensitivity in vivo in a PPAR□-dependent manner.	Neschen S et al.	内分泌代謝内科
Pediatr Blood Cancer 48 477-478 2007	Pediatric Primary Leptomeningeal Lymphoma Treated Without Cranial Radiotherapy.	Taga T et al.	小児科
Pediatrics Intrnational 49 540-542 2007	Severe hyperbilirubinemia in a 10-year-old girl with a combined disorder of herediatary spherocytosis and Gilbert syndrome.	Sugita K et al.	小児科
J Pediatr Gastroenterol Nutr 46(3) 308-311 2008	Conformational change of UGT1A1 by a novel missense mutation (p.L131P) causing Crigler-Najjar syndrome type I	Maruo Y et al.	小児科
Pediatric Neurology 37(6) 417-420 2007	Delayed Myelination at the Onset of Cryptogenic West Syndrome.	Takano T et al.	小児科
J Dermatological Sci 47 259-262 2007	Complex regulation of S100A8 by IL-17, dexamethasone, IL-4 and IL-13 in HaCat cells (human keratinocyte cell line).	Bai B et al.	皮膚科
J Dermatology 35 407-412 2008	Role of foods in irregular aggravation of skin lesions in children with atopic dermatitis.	Uenishi T et al.	皮膚科

小計81

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Int J Clin Oncol 12 85-93 2007	MR-guided microwave ablation for malignancies.	Kurumi Y et al.	消化器外科 乳腺一般外科
J Microwave Surgery 25 147-152 2007	MRガイド下マイクロ波子宮内膜凝固治療のための電極とナビゲーションシステム	森川 茂廣 他	消化器外科 乳腺一般外科
J Microwave Surgery 25 31-36 2007	Microwave Surgeryの新たなる飛翔ーマイクロ波を用いた手術デバイスの開発と実用化ー	谷 徹 他	消化器外科 乳腺一般外科
J Japan Petroleum Institute 50(5) 283-286 2007	Combustion of toluene over titanium(IV) oxide catalyst.	An Byonggu et al.	消化器外科 乳腺一般外科
人工臓器 36(3) 218-219 2007	酸化チタン加熱による医療廃棄物処理法開発の基礎的検討	谷 徹 他	消化器外科 乳腺一般外科
Medical imaging Technology 25(4) 176-191 2007	3D non-rigid image registration algorithm for MR-guided microwave thermocoagulation of liver tumors.	Rui XU et al.	消化器外科 乳腺一般外科
IEICE Transactons on Information and Systems E91-D(1) 132-144 2008	Parzen-window based normalized mutual information for medical image registration.	Rui XU et al.	消化器外科 乳腺一般外科
Am J Surgery 195(6) 854-860 2008	Thoracoscopy-assisted magnetic resonance guided microwave coagulation therapy for hepatic tumors.	Shiomi H et al.	消化器外科 乳腺一般外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 56(3) 109-113 2008	Off-pump coronary artery bypass grafting using in situ bilateral skeletonized internal thoracic arteries.	Suzuki T Asai T	心臓血管外科
Molecular Medicine Reports 1 225-230 2008	HER1-4 expression status correlates with the efficacy of gefitinib treatement and tumor cell proliferative activity in non-small cell lung cancer.	Fujita M et al.	呼吸器外科
Cancer Immunol Immunother 56(3) 331-342 2007	Successful tumor eradication was achieved by collaboration of augmented cytotoxic acitivity and anti-angiogenic effects following therapeutic vaccines containing helper-activating analog-loaded dendritic cells and tumor antigen DNA.	Teramoto K et al.	呼吸器外科
整形・災害外科 50 583-592 2007	膝関節軟骨損傷に対する関節鏡視下骨軟骨移植法	松末 吉隆	整形外科
中部整災誌 50 915-916 2007	高齢者頸椎手術例に対するクリニカルパスの検討 ー術後早期リハビリテーションの検討も含めてー	猿橋 康雄	整形外科

小計94

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
中部整災誌 50 81-82 2007	骨粗鬆症脊椎骨折の整復における錐体形成術の有効性	今井 晋二	整形外科
中部整災誌 50 623-624 2007	骨粗鬆症性錐体圧潰に対する術式選択	松村 健一	整形外科
Acta Orthopaedica 78 845-855 2007	Exogenous collagen-enhanced recruitment of mesenchymal stem cells during rabbit articular cartilage repair.	Kubo M	整形外科
Biomaterials 28 434-440 2007	The MR tracking of transplanted ATDC5 cells using fluorinated poly-L-lysine-CF_3.	Maki J	整形外科
Bone 40 981-990 2007	DU145 human prostate cancer cells express functional Receptor Activator of NFKB: New insights in the prostate cancer bone metastas is process.	Mori K	整形外科
J Pathol 211 555-562 2007	Human osteosarcoma cells express functional Receptor Activator of Nuclear Factor-Kappa B.	Mori K	整形外科
Oncol Rep 18 1365-1371 2007	Receptor activator of nuclear factor-kappa B ligand (RANKL) directly modulates the gene expression profile of RANK-positive Saos-2 human osteosarcoma cells.	Mori K	整形外科
Eur Spine J 2008 (Online Journal)	Discrepancies of MRI findings between recumbent and upright positions in atlantoaxial lesion. Report of two cases.	Suzuki F et al.	脳神経外科
Epilepsia 2008 (Onlin eJournal)	Granule cell dispersion develops without neurogenesis and does not fully depend on astroglial cell generation in a mouse model of temporal lobe epilepsy.	Nitta N et al.	脳神経外科
Anticancer Res 27 4365-4370 2007	A Unique Fibrous Tumor of the Ovary: Fibrosarcoma or Mitotically Active Cellular Fibroma?	Kaku S	母子・女性診療科
Fertil Steril 87(6) 1468.e9-12 2007	Concomitant treatment with an aromatase inhibitor and a GnRH agonist of severe uterine adenomyosis in a premenopausal woman: Case Report.	Kimura F Noda Y	母子・女性診療科
Jouranal of Microwave Surgery 25 37-42 2007	婦人科領域における内視鏡下治療	髙橋 健太郎	母子・女性診療科
Microbiol Immunol 52(1) 47-53 2008	Analysis of splenic Gr-lint immature myeloid cells in tumor bearing mice.	Yamoto Y	母子・女性診療科
日本周産期・新生児学会雑誌 43 79-84 2007	HEELP症候群に対する高用量ステロイド療法の有効性に関する検討	髙橋 健太郎 野田 洋一	母子・女性診療科

小計108

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Proteomics Clin Appl 1 192-199 2007	A novel tumor-related protein, C7orf24, identified by proteome differential display of bladder urothelial carcinoma.	Kageyama S et al.	泌尿器科
Journal of Urology 178 1322-1327 2007	Uroplakin III-Delta4 Messenger RNA as a Promising Marker to Identify Nonulcerative Interstitial Cystitis.	Zeng Y et al.	泌尿器科
Int J Andrology 30 385-392 2007	Epigenetic profile of testicular germ cell tumours.	Okamoto K Kawakami T	泌尿器科
Jpn J Ophthalmol 52 99-107 2008	Japanese Age-related Macular Degeneration Trial (JAT) Study Group. Photodynamic therapy with verteporphin in Japanese patients with subfoveal choroidal neovascularization secondary to age-related macular degeneration (AMD): Results of the Japanese AMD trial (JAT) extension.	Ohji M	眼科
Ophthalmol 2008 115(3) 585-585	Guideline for PDT in Japan.	Ohji M	眼科
Ophthalmology 115(1) 141-146 2008	One-Year Outcomes of Photodynamic Therapy in Age-Related Macular Degeneration and Polypoidal Choroidal Vasculopathy in Japanese Patients.	Ohji M	眼科
Archives of Ophthalmol 125(10) 1363-1366 2007	Vascular endothelial growth factor in aqueous before and after intravitreal Avastin in diabetic retinopathy.	Sawada O	眼科
Archives of Ophthalmol 125(10) 1415-1416 2007	A stiffer and safer light pipe for 25-gauge vitrectomy	Ohji M	眼科
Retina Cases & Breif reports 2 67-69 2008	Traumatic macular hole-related retinal detachment in an emmetropic eye successfully treated with vitrecdtomy.	Ebihara Y	眼科
Biochem Biophys Res Commun 362(1) 88-93 2007	Functional analysis of rod monochromacy-associated missense mutations in the CNGA3 subunit of the cone photoreceptor cGMP-gated channel.	Muraki-Oda S	眼科
Jpn J Ophthalmol 51(4) 307-309 2007	Massive subretinal hemorrhage after photodynamic therapy for polypoidal choroidal vasculopathy after macular translocation surgery.	Ohji M	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 245(10) 1569-1571 2007	Long-term follow-up of polypoidal chorodial vasculopathy afer photodynamic therapy with vertephorfin.	Ohji M	眼科
日本神経精神薬理学雑誌 28 23-28 2008	MRスペクトロスコピーを用いた前帯状回、前頭前野の神経機能評価の試み	福井 聖(弥己郎) 他	ペインクリニック科

小計121

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Radiation Medicine 25(4) 148-154 2007	Comparisons of bone mas measurements of various skeletal sites including quantitative ultrasonography of the calcanesus for assessing age-related losses, their correlations, and diagnostic agreement using the Japanese and WHO criteria for osteoporosis.	Imashuku Y et al.	放射線科
Radiation Medicine 25(4) 155-163 2007	Assessment of diaphragmatic motion after lung resection using magnetic responance imaging.	Takazaura R et al.	放射線科
Radiation Medicine 25(4) 187-193 2007	Laser-guided computed tomography puncture system:simulation experiments using artificial phantom lesions and preliminary clinical experience.	Nitta N et al.	放射線科
Koren J Radiol 8(5) 418-428 2007	Degradable gelatin microspheres as an embolic agent: an experimental study in a rabbit renal model.	Ohta S et al.	放射線科
Radiat Med 26(2) 76-80 2008	Pulmonary infarction associated with bronchogenic carcinoma.	Takahashi M et al.	放射線科
Investigative Radiology 43(3) 195-201 2008	Quantitative Assessment of Arterial Stiffness by Multiphase Analysis in Retrospectively Electrocardiogram-Gated Multidetector Row Computed Tomography: Compariosn Between Patients Under Chronic Hemodialysis and Age-Matched Controls.	Nagatani Y et al.	放射線科
Cardiovasc Intervent Radiol 31(2) 359-366 2008	Is the use of fullerene in photodynamic therapy effective for atherosclerosis?	Nitta N et al.	放射線科
IVR会誌 Jpn J Intervent Radiol 22(1) 16-26 2007	静脈血栓塞栓症の臨床 3. 静脈血栓塞栓症の診断	高橋 雅士 他	放射線科
Ann Otol Rhinol Laryngol 116(6) 471-478 2007	Duodenal contents reflux-induced laryngitis in rats: Possible mechanism of enhancement of the causative factors in laryngeal carcinogenesis.	Ling ZQ et al.	歯科口腔外科
Cancer Sci 98(11) 1683-1688 2007	High animal-fat intake changes the bile-acid composition of bile juice and enhances the development of Barrett's esophagus and esophageal adenocarcinoma in a rat duodenal-contents reflux model.	Che K-H et al.	歯科口腔外科
日本口腔インプラント学会雑誌 20 299-303 2007	舌弁切離形成術を要した中咽頭癌術後患者に対する下顎インプラント義歯の1例	西川 正典 他	歯科口腔外科
Oncology Reports 18 633-637 2007	Immunohistochemical demonstration of the type III intermediate filament peripherin in human rectal mucosae and well-differentiated endocrine neoplasms.	Ishida M et al.	病理部
病理と臨床【臨時増刊号】Vol25 42-56 2007	胃一胃炎および胃上皮腫瘍	九嶋 亮治 他	病理部

小計134

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
日本臨床細胞学会誌 46(2) 99-103 2007	尿細胞診で推定しえたNK/T細胞リンパ腫の1例	石田 光明 他	病理部
診断病理 24 252-255 2007	膵内副費に発生した類表皮のう胞の一例	石田 光明 他	病理部
Oncology Reports 17 1481-1485 2007	GAD34 induces p21 expression and cellular senescence.	Minami K et al.	検査部
Int J Mol Med 19 475-483 2007	GAD34 inhibits mammalian target of rapamycin signaling via tuberous sclerosis complex and control cell survival under bioenergetic stress IF1.85.	Watanabe R et al.	検査部
Brain Res 1168 97-105 2007	RB1CC1 insufficiency causes neuronal atrophy through mTOR signaling alteration and involved in the pathology of Alzheimer's disease.	Chano T et al.	検査部
J Virol 81 11106-11115 2007	Suppression of viral replication by stress-inducibleGADD34 protein via the mammalian serine/theronine protein kinase mTOR pathway.	Minami K et al.	検査部
医学検査 56 1556-1559 2007	M7 の寛解後、約13年後にALLを発症したCockayne家系Down症候群の1例	奥野 広子 他	検査部
日本アフェレシス学会雑誌 2007	膜型血漿分離器によるPlasma Dia-filtration(PDF)-Plasma Filtration with Dialysisi-療法	江口 豊	救急・集中治療部
Altherosclerosis 2007	The Association between High-Density Lipoprotein Cholesterol Level and Cholesteryl Ester Transfer Protein TaqIB Gene.	Tujita Y et al.	救急・集中治療部
Acta Orthop 78 845-855 2007	Exogenous Collagen Augments Repair of Full-thickness Cartilage Defect by Facilitating Mesenchymal Cell Recruitment.-Detailed Cellular Events during Cartilage Repair-	Kubo M et al.	リハビリテーション科
Cancer Chemother Pharmacol 61(4) 587-594 2007	Expession level of thymidylate synthase mRNA reflects 5-fluorouracil sensitivity with low dose and long duration in primary colorectal cancer.	Okumura K et al.	化学療法部
Nature Genetics 39 1013-1017 2007	Germline gain-of-function mutations in RAF1 cause Noonan syndrome.	Razzaque M et al.	治験管理センター
日本小児循環器学会雑誌、23 75-76 2007	肺高血圧症へのsildenafil治療に関する使用実態調査結果	佐地 勉、中川 雅生	治験管理センター

小計147

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
日本小児臨床薬理学会誌、20 29-32 2007	小児薬物療法根拠情報収集事業における酢酸フレカイニドの選択と進捗状況	中川 雅生	治験管理センター
日本小児臨床薬理学会誌 20 94-97 2007	小児科病棟における適応外薬剤の使用状況	藤田 彩子 他	治験管理センター 薬剤部
外来小児科 10 228-235 2007	QT延長判定基準の改定について	高橋 良明 他	治験管理センター

計150

（注） 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

（様式第１２）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長　柏木　厚典
管理担当者氏名	総務課長　植垣 健一　　医療サービス課長　山﨑 勝治　　病院管理課長　大城 雅彦 薬剤部長　山路　　昭　　放射線部長　村田 喜代史

			保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			医療サービス課 （診療情報管理室） 薬剤部 放射線部	診療録等の病歴資料は外来・入院別に１患者１ファイル方式による永久一元番号で分類し、入院が原本１０年、１０年以上経過後は光ファイリング化及び外来が最終来院日より１０年間の保存を原則としている。エックス線写真は最終来院日より７年、死亡患者については５年の保存を原則としている。これらは、コンピュータによる集中管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿		総務部総務課	
	高度の医療の提供の実績		病院管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績		病院管理課	
	高度の医療の研修の実績		総務部総務課	
	閲覧実績		医療サービス課	
	紹介患者に対する医療提供の実績		医療サービス課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿		医療サービス課及び薬剤部	
	規則第９条の２３及び第１条の１１各号に掲げる体制の確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

（様式第１３）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	副病院長　綿貫祝生
閲覧担当者氏名	医療サービス課長　山﨑勝治
閲覧の求めに応じる場所	病院小会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　０件
閲覧者別	医師	延　０件
	歯科医師	延　０件
	国	延　０件
	地方公共団体	延　０件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	52.5　％	算定期間	平成１９年４月１日～平成２０年３月３１日

算出根拠	Ａ：紹介患者の数	１０，０３４　人
	Ｂ：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	７，６３１　人
	Ｃ：救急用自動車によって搬入された患者の数	１，５４３　人
	Ｄ：初診の患者の数	２８，９６６　人

（注）１「紹介率」欄は、Ａ，Ｂ，Ｃの和をＢとＤの和で除した数に１００を乗じて小数点以下第１位まで記入すること。

２　Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄは、それぞれの延数を記入すること。

（様式13-2）

規則第９条の２３及び第１条の１１各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有)（ 2名）・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)（ 1名）・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・ 無
・ 所属職員： 専任（ 3 ）名 兼任 （ 16）名 ・ 活動の主な内容： 医療事故防止及び感染予防対策の推進に関すること、医療安全管理委員会及び感染予防対策委員会への情報提供及び改善策の提案に関すること、インシデント報告の調査及び分析に関すること、安全管理に関する事例、対策等の情報収集に関すること等	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・ 無
・ 指針の主な内容： 医療安全管理に関する基本的な考え方、医療安全管理のための委員会その他組織に関する基本事項、医療安全管理のための職員研修に関する基本方針、報告等に基づく医療に係わる安全確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針、医療事故発生時の対応に関する基本方針、患者からの相談に対する基本指針、患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針等	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 発生した医療事故の患者及び家族等への対応に関すること 医療事故に係る公的機関への報告及び公表に関すること 医療事故防止対策の企画立案に関すること 安全管理指針の策定に関すること 医療事故防止マニュアルに関すること 医薬品業務手順書の策定に関すること 医療事故報告書の事故状況等の分析に関すること。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
・ 研修の主な内容： 講師を招聘しての講演会、院内講師による研修会、外部の研修会への参加等	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ (有) ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ニュース・レターの発行や院内ホームページへの掲載により、職員に周知している。 毎月の重要なインシデント及びその対策について、各部署リスクマネージャーが周知し、情報の共有化を図っている。院内ラウンドによるチェックを行っている。	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) ・ 無
・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方, 院内感染対策のための委員会その他の組織に関する基本的事項 院内感染対策のための従業員研修に関する基本方針 院内感染発生時の対応の基本方針 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 感染予防対策の企画立案に関すること 感染予防対策マニュアルに関すること 感染源の調査に関すること 感染予防対策に係る教育及び研修に関すること等 感染予防対策の企画立案に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 回
・ 研修の主な内容： 講師を招聘しての講演会、院内講師による研修会、外部の研修会への参加等	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ニュース・レターの発行や院内ホームページへの掲載及び学内メールへにより、職員に周知している。 感染対策チーム委員会において感染症の発生状況及びその対策について、検討し、各部署の感染リンクスタッフに周知し、情報の共有化を図っている。実施状況の院内ラウンドによるチェックを行っている。	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容： １２月 全職員に対し、麻薬の使用方法、取り扱い上の注意事項、事故防止対策の講義	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ((有)・無) ・ 業務の主な内容： ９月 手順書に準じた業務実施状況の確認。 ３月 手順書の改訂版（第２版）を発行。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品添付文書情報は、改定の都度、メーカーに請求するとともに、処方オーダーシステム内の添付文書情報も逐次更新している。（オーダー時、参照可能）	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回

・ 研修の主な内容：
  - 人工呼吸器の基礎と使用について。
  - 輸液ポンプ、シリンジポンプについて。
  - ＩＡＢＰとスワンガンツカテーテルについて。
  - 閉鎖式保育器について。

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・ 計画の策定 （ (有) ・ 無 ）
・ 保守点検の主な内容：
  - 人工呼吸器は、メーカーによる定期点検と院内ＣＥ点検。
  - 輸液ポンプ、シリンジポンプは、メーカーによる定期点検とＣＥ点検。
  - 除細動器等は、主に院内点検を中心に行っている。

④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ (有) ・ 無 ）
・ その他の改善のための方策の主な内容：
  - インターネット情報　医薬品医療機器統合機構メール配信
    厚生労働省及び近畿厚生局のホームページ
  - メーカーによる情報　各メーカーからの情報提供
  - 臨床工学技士会ネット情報